

# 図書館だより

2021 / 春号

9:00~16:45 OPEN

ご進級 & ご入学おめでとうございます!

新しい環境には慣れましたか?

新型コロナの影響で、行動を制限されることが多いですが、心の中だけでも世界を広げていきませんか? 旅行誌で訪れたことのない地域を知る、新書でさまざまな人の生活や考え方を知る、小説でも自分にとって普通だと思っていることの見方を変えてみるができます。価値観や知識などを広げるチャンスです。「あなたの1冊」を探すお手伝いをします。図書館を上手に利用してくださいね。

私のこの一冊

昨年度着任された先生方の  
のオススメ本

(二階堂)

岩井先生、奥田先生、清水先生、谷口先生、塚本先生、仲先生、長良先生、南先生、福岡先生、山田先生、岡本係長

(分教室)

喜田先生、仲井先生、中西先生、西山先生、水瀧先生



ニュース!

## 1年に一度のお楽しみ! 本屋大賞が決定!

本屋大賞は、選考するのが作家や評論家ではなく、全国の書店員!(いつも訪れる書店の店員さんが投票しているかも?) 本好きさんが選ぶこの賞では、文章力や文章構成より、純粋に「おもしろい!」「泣けた~」「心に刺さった!」と感動できる作品が多く選ばれ、毎年、本校の貸出ランキングでも上位をしめています。今年度の大賞町田そのこ著『52ヘルツのクジラたち』も、心がヒリヒリするお話ですが、読後はきっと登場人物と一緒に、頑張っていこうと感じると思いますよ。「本屋大賞翻訳部門」では、ディーリア・オーエンズ著『ザリガニの鳴くところ』が大賞に選ばれました。

2年前の本屋大賞受賞作品『そして、バトンは渡された』が映画化されます。過去の大賞受賞作品も、映画化されることが多いです。この『52ヘルツのクジラたち』が映画化されるなら、どんな配役になるかな~なんて想像しながら読むのも楽しいかもしれませんね。

3月発行の図書館報で、心に響く本から走り出したくなる本まで、幅広いジャンルの本を紹介してくれました。展示本も貸出できます。



## 2020年度 二階堂図書館 貸出ベスト3

『流浪の月』 凧良ゆう

先生からも生徒からもたくさん貸出がありました。返却時「よかったです」と感想を述べてくれる人も多々。目に見えることが真実とは限らないと考えさせられます。

『鬼滅の刃 (1) しあわせの花』 吾峠呼世晴

『ライオンのおやつ』 小川糸

『線は、僕を描く』 砥上裕将

『夜に駆ける YOASOBI小説集』 星野舞夜

## 公共図書館で電子図書館OPEN

新しい図書館の取り組みが始まっています。

広陵町立図書館は2019年から電子図書の貸出が始まっていましたが、新型コロナによる閉館を経て、2020年から、奈良市立図書館や大和郡山市立図書館など、奈良県の他の図書館でも次々と始まっています。

コロナ禍で、他の人が触れた本を読むことに抵抗がある人にはありがたいサービスですが、それ以外でも、電子図書は文字の大きさを換えられたり、スマホ等で手軽に読めるというようなメリットがあります。まだ「本」より蔵書数が少なく、読みたいものが電子化されていないこともあります。一度どのようなものが試してみてもどうでしょうか。天理市立図書館もこの3月23日からスタートしました。

公共図書館は、住んでいる所と通学している学校のある所を利用することができます。例えば、橿原市から本校に通学している人は、橿原市立図書館と天理市立図書館を利用することができます。申し込み方法などは、公共図書館のホームページを見てください。